

学習の進め方

ため池を学習するときは、次の点に気をつけてみましょう。

土地改良区かいいりょうくや水利組合すいりの人に聞くポイント

- ・調べる目的や質問を、事前じぜんに手紙やファックスで送っておく。
- ・パンフレットや資料などがあれば、事前に送ってもらう。
- ・写真さつえいやインタビューは、許可きょかをとってからにする。
- ・メモをもとに質問する。
- ・テープレコーダーを用意し、メモは簡単かんたんに取り、話をよく聞く。

ため池にかかわる人物を調べる

(図書館などでため池を調べるときのポイント)

- ・ため池は、いつごろ、だれの手によってつくられたのだろうか。
- ・その人は、どのような業績ぎょうせきを残した人なのだろうか。
- ・その人がかつやくしたのは、どのような時代だったのだろうか。
- ・そのことが、当時の社会をどのように変えたのだろうか。
- ・その人の人なりをあらわすエピソードは、どんなことだろうか。

「ため池」を見学する時

ため池を見学するときは、次の点に注目して見ましょう。

見学するときのポイント

- どうして、こんなため池をつくったのだろうか。
- ため池が、なぜその地域に必要なのか。
- ため池のしくみは、どのようになっているのか。
- ため池の水は、どこから流れてきて、どこに流れていくのか。
- ため池の水は、1年の内でいつが多くていつが少ないか。
- ため池の水は、学校のプールで何杯なんはいくらいになるのか。
- ため池に生息せいそくする動物や植物には、どんな種類しゅるいがあるのか。
- ため池をつくる時、どんな苦労や工夫があったのだろうか。

ため池を見学する時のやくそく

- ため池には、1人ではぜったいに行かないこと。
- ため池に出かける時は、おうちの人に行き先を必ず伝える。
- 大雨のあとは、ため池の水が増えるので、ため池には近づかない。
- ため池は、おとなの人の身長しんちようより深いので、ぜったいに泳がない。
- ため池にある機械きかいなどを、かってに動かしたりしない。